



中名田っ子

小浜市立中名田小学校

平成30年4月20日

4月号

ご入学、ご進級おめでとうございます。

今年度、1年生4人が中名田小学校に仲間入りをして全校児童33名、職員11名で平成30年度をスタートすることになりました。小学校時代は将来必要な知識・技能や人との関わり方など、社会で生きていく上で大切なものが詰まっています。そのような大事な時期にお子様の成長に関わらせていただきます。教職員一丸となって教育に向き合っていきますので、温かいご支援をよろしくお願ひします。



【職員紹介】お世話になります。

校長	村上奈保子	教頭	時岡 聡
1年担任	芝田 賀子	2・3年担任	藤本 高之
4・5年担任	栗原 宗則	6年担任	菅原 佐千代
養護教諭	山本 治美	事務職員	窪田 栄子
非常勤講師	大下 昌子	調理嘱託員	井上 芳恵
学校運営支援員	大岸 定代		

「不易流行」

田村川沿いに並ぶ見事な桜に感動しながら、校長室に足を踏み入れた4月。息子たちがこの学校で過ごしたあの当時も桜があったのだろうか、と昔の記憶をたどりながら校舎内を回ると一気に様々なことが思い出されてきた。授業参観、マラソン大会、夏休みのプール遊び、放課後の少年野球の練習など。しかし、少子高齢化の波に押され、児童数は減り、放課後グラウンドで遊ぶ児童も見かけなくなった。激変する社会に伴い教育のあり方も変わってきた。ちょっと前までは、授業にタブレットやコンピューターを使うことはなかった。英語の授業もなかった。子供たちが社会人になる頃には、今の世の中の6割近い仕事が消え、多くの仕事が自動化されると言われている。自動運転の車やロボットによる介護の様子がテレビで流れると、これから先、どんな社会が待っているのだろうか楽しみと不安が入り交じる。このように変わりゆく社会に対応するために、学校教育の内容も変わらなければいけない。だが、社会が変わっても、人が豊かな心を持ち生活するためには変わらない教育も大事にしなければいけない。このような思いを持って、中名田小学校の学校教育に取り組んでいきたいと思っています。1年間よろしくお願ひいたします。

「不易」いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないもの「流行」世の中の変化とともに変わっていくもの

(裏面もご覧ください)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

〈キリトリセン〉

保護者の声

年

組

保護者氏名

今年度から始まった英語教育（6年生）についてお知らせします。

福井県の高校入試では、英語検定の加点が設けられ、大学入試では英語を話す力を入試内容に入れていこうなど、大きな変化がおきています。そこで、今年度から先行実施で始まった福井県の小学校英語は今までの外国語活動をどう違うのかについて、お知らせします。

- ◆教科としての英語・・・国語や算数と同じ扱いの教科になります。教科なので、覚えることやできないと困ることがたくさん出てきます。
 - ◆時間数はどうなるの？・・・今まで1週間に1回の外国語活動でしたが、1週間に2時間の英語の授業になります。
 - ◆テストはあるの？・・・英語を聞いたり、話したりするテストがあります。また、アルファベットを書いたり、単語を書き写したりするテストもあります。
 - ◆評価はどうするの？・・・3・2・1など数値によるものではなく、言葉で個人の頑張りやできたところを書くなど文章での評価になります。
 - ◆授業の内容はどうなるの？・・・今まではゲームなど、楽しい内容が多かったのですが、自分の考えや気持ちを伝えるなど話すことや発表すること、そして、たくさんの英語を聞くことが多くなります。1週間に1時間はディール先生と授業をします。
- *国から教科書もいただいています。見ていて楽しい内容がたくさん載っています。授業の様子や内容を是非、お子さんに聞いてみてください。英語に限らず、学校生活や学習内容について親子で会話をしてみてください。家庭での会話が、「話す力」「聞く力」につながります。



4/17 ボランティアさんとの顔合わせ会
1年間たいへんお世話になります。

Move! 心が動いたよ

- 目を見て挨拶ができること
「おはようございます」など、目を見て挨拶されると、とても気持ちがいいです。
- 朝、ぬかるんだ校庭を歩き児童玄関に着くと、ズックの泥をマットでふいて玄関に入ってくる児童を見かけました。ちょっとしたことですが、素晴らしいことです。
- 校歌の歌声が美しいこと
全校児童で歌う校歌が、たいへんきれいで驚きました。

